

科目名	看護学シミュレーション			ナンバリング	INE851	授業形態	演習
対象学年	3年	開講時期	前期前半	科目分類	必修	単位数	1単位
代表教員	大堀昇	担当教員	レンデンマン美智子 狩谷恭子 木部美知子 縦山定美 鈴木久美子 瀬戸愛子 鈴木直子 鈴木祐子 木村奈緒 河田真理子 他				

授業の概要	小児、母性、成人、老年、精神の各看護分野を対象に、日常生活を整えるための環境、食、排泄、活動、衣・清潔に関する看護援助方法およびアセスメント技術について、状況設定に基づくシミュレーション技法を用いて再現する。シナリオデザインシートの作成とともに、シナリオに基づいたシミュレーションおよびデブリーフィングを繰り返し行うことで、自身の援助行動を客観視し、これらの経験、振り返り、検証を行うことにより、知識・技術・態度の統合を図る。
到達目標	これまで学んだことをもとに、看護ケア提供・アセスメント技術等の確認を行い、各シミュレーション学修の目標をクリアし、健康生活看護学実習(成人・精神・老年2・母性・小児)、地域養生看護学実習(在宅)の準備が出来る。 各シミュレーション学習の目標は別記。
学習のアドバイス (勉強方法、履修に必要な予備知識など)	領域別看護学実習で活用できるような看護援助方法やアセスメント技術のシミュレーション学修を行うので、各看護学領域の既習内容を復習し事前課題には必ず取り組みむこと。
ディプロマポリシーとの 関連	【看護学部看護学科のディプロマポリシー】
	<input type="radio"/> 1. 広い視野と豊かな教養に基づき、看護の担い手としてふさわしいヒューマニズムと倫理観を身につけている。
	<input type="radio"/> 2. EBN(Evidence Based Nursing: 根拠に基づいた看護)に基づき、自律的に看護を実践することができる。
	<input type="radio"/> 3. 生命の尊厳と人権を尊重する姿勢を身につけ、多職種と連携・協働することができる。
	<input type="radio"/> 4. 地域の健康課題に関するニーズをとらえ、災害時の援助活動も含め、積極的に地域貢献できる能力と態度を身につけている。
	<input type="radio"/> 5. 看護専門職として科学と看護の進展に対応するために、生涯にわたって持続可能な主体的学修ができる。

標準的な到達レベル(合格ライン)の目安	理想的な到達レベルの目安
1. 各領域別看護学実習に必要な基礎知識について口頭や記述により表現できる。 2. 事例に必要なアセスメント技術と内容を表現できる。 3. 事例に必要な看護援助技術をシミュレーション下で実施できる。 4. 実施したシミュレーションを振り返り、適切な看護を検討することができる。 5. 実施したシミュレーションをもとに適切な記録や報告ができる。	1. 各領域別看護学実習に必要な基礎知識について口頭や記述により表現できる。 2. 事例に必要なアセスメント技術と内容を優先順位を考慮して表現できる。 3. 事例に必要な看護援助技術を優先順位を考慮してシミュレーション下で実施できる。 4. 実施したシミュレーションを振り返り、適切な看護を検討することができる。 5. 実施したシミュレーションをもとに適切な記録や報告ができる。

評価方法	成績評価観点						評価割合
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	
定期試験(中間・期末試験)							
小テスト・授業内レポート	○	○	○		○		60%
宿題・授業外レポート	○				○		30%
授業態度・授業への参加			○	○	○		10%

課題、評価のフィードバック	授業内においてデブリーフィング等でフィードバックをする
---------------	-----------------------------

	回次	テーマ	授業内容	備考
授業計画	第1回	オリエンテーション	科目の進め方に関するオリエンテーション	事前学習課題の提示
	第2回	シミュレーション1	成人・精神・老年・母性・小児・在宅看護の援助方法・アセスメント技術・状況設定によるシミュレーション学習	シミュレーション学習については別紙
	第3回	シミュレーション2	成人・精神・老年・母性・小児・在宅看護の援助方法・アセスメント技術・状況設定によるシミュレーション学習	シミュレーション学習については別紙
	第4回	シミュレーション3	成人・精神・老年・母性・小児・在宅看護の援助方法・アセスメント技術・状況設定によるシミュレーション学習	シミュレーション学習については別紙
	第5回	シミュレーション4	成人・精神・老年・母性・小児・在宅看護の援助方法・アセスメント技術・状況設定によるシミュレーション学習	シミュレーション学習については別紙
	第6回	シミュレーション5	成人・精神・老年・母性・小児・在宅看護の援助方法・アセスメント技術・状況設定によるシミュレーション学習	シミュレーション学習については別紙
	第7回	シミュレーション6	成人・精神・老年・母性・小児・在宅看護の援助方法・アセスメント技術・状況設定によるシミュレーション学習	シミュレーション学習については別紙
	第8回	シミュレーション7	成人・精神・老年・母性・小児・在宅看護の援助方法・アセスメント技術・状況設定によるシミュレーション学習	シミュレーション学習については別紙
	第9回	シミュレーション8	成人・精神・老年・母性・小児・在宅看護の援助方法・アセスメント技術・状況設定によるシミュレーション学習	シミュレーション学習については別紙
	第10回	シミュレーション9	成人・精神・老年・母性・小児・在宅看護の援助方法・アセスメント技術・状況設定によるシミュレーション学習	シミュレーション学習については別紙
	第11回	シミュレーション10	成人・精神・老年・母性・小児・在宅看護の援助方法・アセスメント技術・状況設定によるシミュレーション学習	シミュレーション学習については別紙
	第12回	シミュレーション11	成人・精神・老年・母性・小児・在宅看護の援助方法・アセスメント技術・状況設定によるシミュレーション学習	シミュレーション学習については別紙
	第13回	シミュレーション12	成人・精神・老年・母性・小児・在宅看護の援助方法・アセスメント技術・状況設定によるシミュレーション学習	シミュレーション学習については別紙
	第14回	シミュレーション13	領域別実習グループによる直前トレーニング等	
	第15回	シミュレーション14	領域別実習グループによる直前トレーニング等	
	試験	期末試験は実施しない。		
授業の進め方	各シミュレーションをローテーションして学生はすべてのシミュレーションを体験する。 各シミュレーションは「オリエンテーション・ブリーフィング・演習・デブリーフィング・まとめ」から成り立ち、各回終了後記録を提出する。			
授業外学習の指示	各シミュレーション前に提示された課題を必ず学習し、まとめておき、それを演習・デブリーフィング時に使用する。 各シミュレーション終了後にまとめをし、記録物を決められた時間までに提出する。 (授業外学習時間: 毎週 180 分)			

教科書	これまで使用した当該科目のテキスト
参考書	必要時、授業内で指示する
参考URLなど	必要時、授業内で指示する
その他	